

令和3年度第1回福岡県気候変動適応推進協議会後日意見等

● 意見(福岡県農林業総合試験場)

・ 資料の修正

資料名およびページ数	修正箇所および修正内容
福岡県地球温暖化対策実行計画 資料 2-4 P1	● 畜産業における対策 (現在)○暑熱ストレス下でも生産性が低下しにくい…育種に資する技術を開発。 (修正後)全文を削除。

● 情報提供(福岡管区气象台)

・ 資料2-2に関連して4点の情報提供

1. 日本近海と世界平均の海面水温の比較について

「日本近海の海面水温と世界平均の海面水温を比較しては」というご提案については「日本の気候変動2020」(文科省、気象庁)の記述が参考になると思う。

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/2020/pdf/cc2020_honpen.pdf#page=32

・世界全体の年平均海面水温は1891～2019年において100年あたり+0.55℃となっている(東シナ海は+1.25℃)。

2. 日本近海の海面水温の将来予測について

また同じく「日本の気候変動2020」では日本近海の海面水温の将来予測データも掲載している。資料2-2では日本近海の海面水温は長期変化傾向のみを掲載されているが、予測データの掲載も可能である。以下リンク先を参考。

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/2020/pdf/cc2020_honpen.pdf#page=34

3. RCP2.6(2℃上昇シナリオ)に基づく将来予測について

「日本の気候変動2020」の公開とあわせて、これまでのRCP8.5シナリオに加えてRCP2.6シナリオに基づく予測データも作成した。県別の予測データも提供できるものがあるので資料2-2に掲載を検討される場合はご相談いただければと思う。

4. ヒートアイランド現象

資料2-2のヒートアイランド現象の記述について、「ヒートアイランドによる気温の上昇は最低気温の方が効くのでは」とのご指摘があったが、気象庁HPにも「ヒートアイランド現象」についてまとめたページがあるので参考に紹介する。

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/index_himr.html

* 黄砂の濃度の長期変化傾向について

「黄砂の観測日数には長期変化傾向にはないとのことだが、黄砂の濃度はひどくなっているように感じるが？」とご質問があり確認したが、気象庁では濃度に関するデータは測定していなかった。